

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成29年6月15日(2017.6.15)

【公開番号】特開2017-12801(P2017-12801A)  
 【公開日】平成29年1月19日(2017.1.19)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-003  
 【出願番号】特願2016-180934(P2016-180934)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月28日(2017.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の遊技球を貯留可能な貯留手段と、  
前記貯留手段に貯留された遊技球を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と、  
前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技球を遊技領域に向けて一つずつ  
発射可能な発射手段と、  
を備えた遊技機であって、  
前記球送り手段は、金属板材からなる不正防止部材を具備し、  
前記金属板材は、遊技球に付された線材が進入しうる隙間が形成されるように屈曲して  
おり、遊技球に付された線材が前記隙間に進入することで、線材を用いた不正行為を困難  
にするものであり、  
前記球送り手段を当該遊技機から取り外す際には、該球送り手段の取り外しとともに前  
記金属板材を当該遊技機から取り外すことが可能であり、  
前記通過口は、前記金属板材における前記隙間と連通しており、  
前記金属板材の前記隙間は、前記通過口の、前記発射位置から発射された遊技球の進行  
方向側に位置し、  
前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な斜状の誘  
導部が形成され、  
前記球送り手段には、前記金属板材を収容可能な収容部が設けられる  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機では、本体枠と扉枠との隙間からピアノ線等の細長い不正工具を  
遊技領域内に侵入させて、受入口への遊技媒体の受入れを検知するセンサを誤作動させた  
り、遊技領域内に植設された障害釘を曲げたりする不正行為が行われる問題があった。こ

の問題に対して、扉枠を開閉可能に支持する一対のヒンジ機構の間に、弾性変形可能な板状のガイド部を備え、扉枠と本体枠の間にパール等を挿入して隙間を広げようとしても、弾性変形するガイド部によって隙間を覆って不正工具を挿入することができないようにしたものが提案されている（例えば、特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【特許文献1】特開2008-73340号公報

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

しかしながら、従来の遊技機では、線材を取り付けた遊技媒体を、通常の遊技媒体と同様に貯留部から遊技領域内へ発射して行うような不正行為については考慮されていなかった。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そこで、本発明は上記の実情に鑑み、遊技媒体に線材を付着して行われる不正行為を抑制することが可能な遊技機の提供を課題とするものである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：複数の遊技球を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技球を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技球を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を備えた遊技機であって、

前記球送り手段は、金属板材からなる不正防止部材を具備し、

前記金属板材は、遊技球に付された線材が進入しうる隙間が形成されるように屈曲しており、遊技球に付された線材が前記隙間に進入することで、線材を用いた不正行為を困難にするものであり、

前記球送り手段を当該遊技機から取り外す際には、該球送り手段の取り外しとともに前記金属板材を当該遊技機から取り外すことが可能であり、

前記通過口は、前記金属板材における前記隙間と連通しており、

前記金属板材の前記隙間は、前記通過口の、前記発射位置から発射された遊技球の進行方向側に位置し、

前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な斜状の誘導部が形成され、

前記球送り手段には、前記金属板材を収容可能な収容部が設けられる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

この発明によれば、遊技媒体に線材を付着して行われる不正行為を抑止することが可能な遊技機を提供することができる。